



# JOCA Kyushuだより

特定非営利活動法人九州海外協力協会  
Japan Overseas Cooperative Association of Kyushu

## 暑中お見舞い申し上げます。

田植えが終わった田んぼから賑やかに蛙たちの合唱が聞こえてくると、早いもので今年もいつの間にか1年の半分を消化してしまいました。そんな中、6月の下旬に今年度の第1陣(平成22年度第1次隊)61名が九州各県からそれぞれの任国に向けて旅立ちました。「生まれは九州、舞台は地球」2年後はポケットに沢山のお土産を詰め込んで地球色に日焼けした元気な笑顔を見せてくれることと思います。

JOCA九州も「生まれは九州、舞台は地球」を合言葉に派遣中隊員の活動と協働出来るようなプロジェクトの形成を心がけたいと思います。手始めに今年は、北九州市がマダガスカル共和国に協力を開始する「マダガスカル希少動物補助事業」の海外技術協力プロジェクトが当協会との連携でスタートしました。2～3年後にはこのプロジェクトで人工繁殖させた希少動物が到津の森公園で見られることを楽しみにしています。



花言葉

「高慢」  
「辛抱強い愛情」  
「元気な女性」  
「あなたは美しいが冷淡だ」



講師の説明に耳を傾ける参加者



おとつと!

## 森と私たち 2010

平成20年からスタートした「森と私たち」の活動も、今年で3年目を迎えました。

去る5月29日(土)に今年度第一回「森と遊ぼう!」を実施しましたので、ご報告いたします。今年度のフィールドである糸島市井原山に定員をはるかに上回る48名の参加者が集いました。0歳児3名や留学生約10カ国から20名という、世代と国籍を越えた地球家族とも言える参加者が森案内人の説明に耳を傾けながら、森林散策を行いました。昼食は一品持ち寄りですべて分け合っていました。ネパール、エジプト、中国、ブラジルと様々な国の料理が並び、皆、興味津々に話に花が咲きました。最後に印象に残ったことや、不思議に思ったことを絵や文字で表現し、ふり返りを行なった後、講師から森林における食物連鎖についてお話いただきました。山本



絵や言葉で想いを共有



参加者全員で集合写真!

次回の森と私たちは8月21日(土)22日(日)のサマーキャンプ! 森林散策や野外での料理作り、間伐材を使ったクラフト作りなど、盛り沢山の内容です。場所は糸島市瑞梅寺山の家です。みなさんぜひご参加ください。子どもさん大歓迎です!(小学生以上対象、親御さん同伴願います。)



JICA九州  
の大展示  
7～9月



上記期間、JICA九州展示スペースに於いて「平和構築と人間の安全保障」についての展示を行います。今でも世界のどこかで紛争が起きている。そこに何かしたいという日本人がいる。8月には日本も終戦記念日を迎え、誰もがこのテーマを考える、いい時期になると思います。7月にシャプラニールの方の講演、8月にペシャワール会の方の講演もJICAにて企画されており、両者の取り組みのご紹介もさせていただこうと思っています。他にも小展示での情報掲載やレストランにて海外の味に触れる機会もございますので、北九州へお越しの際は、是非JICA九州入口右の展示スペースまでお立ち寄りください。JOCA九州八幡組一同(3名)お待ちしております。 筆：田中

特定非営利活動法人九州海外協力協会  
〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前3丁目28-4 陣内ビル2F  
TEL:092-415-6536  
E-mail:ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp

## 会員募集のお知らせ！

当会の活動に、ご賛同頂ける団体・個人を、募集致しております。会員の方には「JOCA Kyushuだより」を送付する他、当会主催、共催のイベント情報をご案内致します。

	正会員	賛助会員
個人	¥3,000	¥2,000
団体	¥10,000	¥10,000
法人	¥30,000	¥10,000

ご関心のある方は、当会までお問い合わせください。

## ～情報・ご意見お寄せ下さい～

「JOCA Kyushuだより」では、皆さまからのご意見、各種情報をお待ちしております。国際交流や国際協力に関する有益な情報であれば何でもOKです！！お気軽にお寄せください！

## 発行 特定非営利活動法人九州海外協力協会

〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前3丁目28-4 陣内ビル2F  
TEL:092-415-6536  
FAX:092-415-6518  
HP: <http://www.joca-kyushu.or.jp/>  
E-mail: [ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp](mailto:ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp)



## 活動報告

池田 真里子さん 19/4次隊 ベトナム 環境教育

こんにちは！今年3月末までベトナム中南部に青年海外協力隊(環境教育)として派遣されていました。

今年、生物多様性条約のCOP10が日本で開催されますが、ベトナムは南北に長く世界的にも極めて生物多様性の豊かな国です。一方で、古くから自然保護区周辺に住む住民(主に少数民族)の貧困を背景に、森林の農地転用や密猟などから貴重な生物多様性が失われつつあります。



私が活動していたビドゥップ・ヌイバ国立公園ではこの貴重な生物多様性を守るべく、地域住民参画による国立公園周辺での持続可能な開発(エコツーリズムの企画・実施)や地域住民に対する環境教育等を計画・実践。その中で私の活動は周辺の住民や諸学校での環境教育(啓発活動)が主で、ベトナム人の同僚と村や小中学校を巡回してはワークショップや講座を行ってきました。活動当初は言葉も通じず日本とは違うやり方に戸惑ったり、また啓発活動や教育分野においてその効果は見えにくく自分がそこに派遣された意義に疑問を持つ事も。しかし帰国直前に仕事上でよく喧嘩もしていた同僚が「マリコと一緒に活動してくれたお陰で、自分に自信を持って仕事ができるようになった」と、私の手を取り話してくれました。信念を失わず未来を信じて努力すれば、必ず誰かがどこかで見てくれていて何かしら変化が起きてくるものだと思え、涙が出ました。何事も、諦めず。自分が変わらなければ人も変わらないのですから…。



島田 寛三さん 19/0次隊 ドミニカ共和国 上水道

今年の三月まで、ドミニカ共和国のサンティアゴの上下水道公社で上水道の「無収水量削減計画」のプロジェクトチームのアドバイザーとして、2年間活動してきました。その計画の中でも、特に重要と思われる漏水防止対策に関する事、そして漏水修理や漏水調査に必要な水道台帳の整備に主に携わってきました。漏水防止に関する事においては先ず漏水量及び無収水量を把握するための配水量分析や漏水分析、そして漏水箇所を探知する漏水調査方法やそれらに関連している項目を現地に適合する方法にアレンジして、プレゼンテーションやカウンターパートと共に実施することができたなど満足がいくものではありませんでしたが、納得のいく活動ができたと思っています。そのような中で、言語や習慣などの問題で業務がうまく進まない時もありましたが、そのような時、私の家で寿司パーティーなどを通してお互いのディスカッションの場を設けたことは彼らの考えていることや陽気で明るい民族であることを知る上で効果的でした。また、特に感心したことはこの国は白人と黒人が共生していますが、全く人種差別がされていない点は素晴らしい民族だと思っています。この国にはコロンブスが最初に到着した島としての観光程度で余り見て回る所は多くはありませんが、たまにゆっくりしたい時、近場の「ソスア」という大西洋の海岸へ行くのですが、世界一綺麗な海で陽気で明るい人たちと過ごすのも楽しいものでした。また、年中夏みたいな国でのトロピカルな果物のうまさは最高で、この国ならではのものなのでしょう。この国の青く透き通った空と海また、陽気で明るい友や人なつこい子供たちともう一度再会したいものです。



## インターンシップ研修日記 <研修内容> 青年海外協力隊募集説明会準備・JOCA九州便りスタディツアーなど



平成22年3月23日~3月31日  
葉 宇傑さん(中国)

本日までの一週間、大変お世話になりました。外国人留学生として、日本の会社の現場を実体験できまして、そこしか得られない貴重な経験を積みました。私は元々社会貢献をしたという強い思いを持っていますが、今回のインターンシップを通して、改めて国際協力のやりがいと大変さを肌で感じました。

協力隊募集説明会やJOCA九州便りに関する作業は、膨大な数量があり、一見細かくて単調そうに見えますが、如何に順調かつ効率よく進むのかは様々な工夫が必要だと感じました。また、チームワークにおいて日本社会の原則である「ホウレンソウ」の重要性も再認識できました。社会人として身に付くべきマナーや円滑なコミュニケーションを構築するためのポイントなども勉強になりました。

丁寧なご指導・アドバイスをくださり、大変ありがとうございました。そこから得た経験を大事にし、今後は国際協力できるように頑張っていきたいと思っています。

# 北九州から世界をのぞく講座 ~本場にルワンダをのぞく編~

5/22(土)国内で行なう国際理解・交流を目的に「ルワンダ」を取り上げて講座を開催しました。北九州近郊の学生さん、14名が参加してくれました。セネガル・カンボジア・ガーナ・ラオスのOVも駆けつけてくれて、半日「ルワンダ一色」な時間を過ごしました。



**お品書き**

- 一、協力隊説明
- 一、ルワンダ隊員活動報告  
十九の三 理数科教師 青木洋子
- 一、ルワンダ軽食  
調理体験&試食  
サンブツサ(揚げ餃子のようなもの)
- 一、ルワンダ孤児院との  
スカイプ交流  
首都の隊員配属されているところ

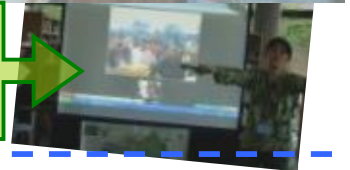
隊員活動報告をしてくれた青木さんは、北九州市ご出身。協力隊、帰国してからの義務(?)、社会還元に一役かっただきました。「AMAKURU? NIMEZA!(元気?元気!)」Tシャツを着て、活動報告と調理体験は青木さんに担当していただきました。彼女の配属先(中高一貫学校)での様子、仏語で生物の授業していたのに2009年に公用語が変わったため、いきなり英語で授業をしなければいけなくなったこと。皆、驚いていました! @@;



作ったサンブツサとはインドのサモサ? から来ているのかしら? 日本の食材でも優に作れる揚げ餃子風です。中の具材はお好みですが、この日はルワンダならではの辛味調味料「うるせんだ(又の名をピリピリ)」を入れて「から〜い」を演出♪この後のスカイプ交流をしながら、ルワンダ紅茶と一緒にいただきました^^  
「びらりぎょーしえ(おいしい)！」

スカイプ交流の先は、実は筆者の元配属先の孤児院で、後任隊員さんとの企画でした。お互い国歌に始まり、ルワンダの現地語で話しかけ、更に盛り上がった昔懐かしクイズ番組、なるほどザ・ワールドの「恋人選び」を画面を通して行ないました。男子人気はやはりジャニーズ系、女子人気は金髪メイクぱっちりのアユでした。「むこうの空が見えたとき、ああアフリカなんだと思いました」と学生さん。そう! 向こうはアフリカだったんです。

ルワンダっ子が  
見えますか?  
著: 田中



## マダガスカル希少動物保護事業

今年度も引き続きマダガスカル希少動物保護事業の進行管理業務を行います。昨年度が、準備期間であり、今年度は本格的に事業を展開する予定です。まずは、シファカ繁殖用の施設の建設、さらにジェントルキツネザルの改修用施設が開始されます。また、施設が完成すれば実際に森に入り繁殖用のシファカやジェントルキツネザルを捕獲にいくなど、今年は盛りだくさんの事業内容となっています。

### マダガスカルの豆知識...その1

マダガスカルは、みなさんが大好きなアイスクリームに使われる**パニラ**の生産が世界一なんです。お菓子作りやリラックスに、芳醇な香りを届けてくれます。

### マダガスカルの豆知識...その2

マダガスカルは、お**米**の1人あたりの消費量が世界一なんです。ちなみに最近の日本人の一人あたりは年間60kg、昔は120kg食べてたようです。マダガスカル人はなんと200kgだそうです!

